

2022年6月17日

各位

サスメド株式会社

がん研有明病院とサスメド、「免疫チェックポイント阻害薬投与患者における治療を要する免疫有害事象の実態調査」に関する共同研究開始のお知らせ

サスメド株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:上野 太郎、以下「当社」)は、公益財団法人がん研究会有明病院(所在地:東京都江東区、病院長:佐野武、以下「がん研有明病院」)と「免疫チェックポイント阻害薬投与患者における治療を要する免疫有害事象の実態調査」(以下「本共同研究」)に関する共同研究契約を締結し、このたび共同研究を開始しましたのでお知らせいたします。

免疫チェックポイント阻害薬 (immune check point inhibitors: ICIs、以下「ICIs」)は、さまざまな免疫細胞の働きを抑制する「免疫チェックポイント」を阻害することで、がん細胞に対する免疫を活性化・持続させる薬剤です。ICIs が原因で起こりうる副作用に、「免疫関連有害事象」(immune-related adverse events: irAEs、以下「irAEs」)と呼ばれるものがあります。irAEs は多臓器に渡り、また約 1.97%で致死的な転帰をたどる重症例が発生します*。そのため irAEs 発生の予測因子の解明、適切な管理方法の確立につなげていくための、ICIs の使用実態および irAEs の発症状況を継続してモニタリングし記録するデータベース体制構築が急務となっています。

がん研有明病院は当分野における豊富な経験と幅広い知見を有しており、当社が有する医療ビッグデータのAI解析・検証のノウハウを活用することで、本共同研究では、irAEs 発生の実態および予測因子の発見を目的として、irAEs 症例データベースの構築、集められたデータの集約・傾向の解析を行います。

2011年の米国での承認以来、急速にその使用規模が増加してきた ICIs ですが、国内では近年の ICIs の保険適応拡大に伴い、ICIs 使用数のさらなる急増が見込まれており、それに伴って irAEs の増加も懸念されています。がん研有明病院と当社は、本共同研究を通じて、ICIs に伴う irAEs の実態解明を目的とした研究開発を共同して行うことで、患者さま、医療従事者の皆さまに貢献してまいります。

* Wang, D. J. et al. Fatal toxic effects associated with immune checkpoint inhibitors: a systematic review and meta-analysis. JAMA Oncol. 2018 Dec; 4(12): 1721-1728.

<サスメド株式会社について>

サスメド株式会社は、デジタル医療を推進する研究開発型企業です。臨床開発支援システムのほか、医療用アプリ開発の汎用プラットフォーム、不眠症治療用アプリ開発及び AI 自動分析システムの提供を行っています。ブロックチェーン技術の医療応用や医療用アプリについての各種特許を取得するなど、技術に立脚しデジタル医療を推進しています。

URL : <https://www.susmed.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

サスメド株式会社

E-mail: support@susmed.co.jp